

地域の野球チーム 兵庫ブルーサンダーズ

三田市議会を **X** もっと身近に

市議会



ここ三田市には、全国でも類を見ない、「市」に活動拠点を置く球団「兵庫ブルーサンダーズ」があります。新年最初の対談で、球団運営の事情や地域への思いを代表、監督、選手の皆さんにお聴きました。

新年を迎えての意気込みを聞かせてください

高：三田市でホームゲームを毎年32試合をやらせてもらっています。野球の団体が一つの市に拠点を置いてやるというのは、日本ではここしかないことなんです。そんなことも知っていただきながら、地域の皆さんとしっかり連携できるような球団づくりを考えています。



池：9クルーズ時代から関西独立リーグに所属していた球団で3年間監督をさせていただき、昨年の4月からは芦屋大学と教育提携をした中で、育成軍として2軍の監督と1軍のコーチを兼任しています。この4月からは15名以上の大学生が新しく増え、30名近くが三田で1軍と一緒に練習し生活する予定です。今後は中学・高校生も何人が三田でお世話になると思っていますので、若い子達と共存できるよう1軍も頑張ってもらいたいと思います。

田：昨年度から所属させてもらっています。今年は昨年よりももっと面白い野球をして、子どもたちに夢を与え、そして地域の活性化に貢献できるよう努力していきたいと思っています。

所属リーグが新しくなったとお聞きしましたが？

高：ブルーサンダーズは子どもたちの育成や、地域の

課題を解決するような野球チームを目指していました。チームが地域活動をすることで、地域から支援され、それに感謝し、野球を通じて恩返しできるような形ができればいいな、とずっと思っていました。そこで理念の共有と、これから先の野球界のことも踏まえて、きちんとした法人運営と球団の管理を行わなければと、昨年12月に新しいリーグを立ち上げました。実はここ(三田市高次)の事務所がリーグの事務局も兼ねるので、この三田でリーグと、ブルーサンダーズの運営を両立していくこととなります。

独立リーグの1番の使命は、試合をする環境を選手に提供することなんです。選手は試合に出て、それをスカウトの方がご覧になってプロに行くチャンスを得るとのことなんですけれども、新しいリーグで試合を効率的に行うには、4か6球団が理想かなと思っています。大阪、兵庫の2球団は確定していますので、あともう2球団の参入を2月の下旬ぐらいまでに発表できたらと思っています。

ズバリ!ブルーサンダーズの売りは？

池：大学生の授業の兼ね合いなどを見ながらですが、十分1軍で使える子もいますし、隣にいる田中嵐君も、体重が増えてストレートに力が乗ってくればプロ行きの可能性は大きいかなと思います。比較的面白い素材の子が大学生の中でも増えてきているので1~2年後にはもっと面白くなるような気がします。



田：昨シーズンから残っている選手が少ないので、昨シーズンで結果を残せなかった自分にもチャンスは回ってくると思っています。それに、野球のみに打



投手
田中 嵐さん



球団代表
高下 汰さん



2軍監督兼1軍コーチ
池内 豊さん

三田がホームグラウンド

ち込んでいるので大学生には絶対負けないぐらい努力しなければと感じます。

なぜ活動拠点を三田市に？

高：前身のチームが三田に移ってきた1年目に年間優勝して、池内監督がジャイアンツにピッチャーの選手を1人育成枠で送ったんです。三田の街で可愛がっていただけるきっかけができたところで前身のチームが解散してしまい、野球で何か貢献できないかなって思いました。全国から集まってきた選手を三田で育てて、また全国に返していくというのが理想ですね。



チームの抱負は？

高：地域の活動にも参加させてもらうんですけど、地域活動と集客って正比例しないんですね。もっと多くの方に来ていただくためには、選手を育成して面白い野球をお観せしなければならないと思っています。あとメールマガジンの配信も準備しています。三田市さんとはパートナーシップ協定を結ばせても

らっています。平日に動ける若い人ってなかなかいないでしょうし、僕ら25人の選手は地域のことを理解して前向きに動ける若い子が揃っており、力仕事もできますので、「スポーツ」を活用するっていう意味で選手をいろんな場面で使ってもらえたらと思います。

最後に伝えたいことがありましたら

池：中学・高校生がこの4月から入ってきます。彼らに、「三田にはこういう魅力があるんだよ」と皆さんから教えていただき、その子たちが巣立って行って、将来自分が中・高・大でお世話になった三田に帰りたい、子どもを住ませたいと思ってもらえればいいですね。プロに行ける子たちを1人でも輩出できるよう頑張っていきますので、温かく見守っていただければありがたいです。

田：僕たち選手の最大の恩返しは、結果を残してプロに行くことだと思っていますので、これまで以上に努力していきたいと思っています。スポンサーの方々、それから三田市の方々、これからも応援よろしくお願いします。

